

❁月ヶ瀬中学校区



めざす子ども像

ふるさとに夢と誇りを持ち、自分の意見をしっかりと語れる子ども

▶月ヶ瀬中学校区 地域教育協議会

地域・子どもの現状	少子高齢化の進むへき地であるが、長年地域の子どもたちを地域で支え、支援する体制が整っている。こども園・小学校・中学校の子どもたちを地域ぐるみで育てる良き環境にある。しかし人口の減少は止まらず、若い世代が住みやすい環境づくり、大人も元気に暮らせるような地域活性化をめざす。
伸ばしたい子どもの具体的な力	月ヶ瀬地区にある地場産業のお茶・梅に関する体験や地域の伝統文化学習を学習する過程で、ふるさとに対する思いや郷土愛を育てる。視野を広げて社会に出て生き抜く力を育む。
取組内容	・郷土の良さを伝える 地域ボランティアの拡大 組織化（子・小・中の系統立てプログラム） ・若い世代と共に、子どもを育てる体制づくり ・公民館等の社会教育と連携し、子ども・大人共に学び合うプログラムの構築 ・地域伝統文化・歴史の啓蒙、学習会開催（子どもと共に若い親世代も一緒に学ぶ）・地域の取組を発信、広める工夫 ・若い世代も入れてニーズに合った企画・新たな取組の開発



▶月ヶ瀬中学校 運営委員会

学校園・子どもの現状	生徒数24名の小規模校であるが、地域の支援を受けて ふるさとを「知る→体験する→行動する→発信する」を展開している。生徒会が地域の支援を受けて取り組むアルミ缶回収活動も、車椅子寄贈123台を超え、地域の力を実感し、さらなる意欲を感じている。 また、月ヶ瀬中学校観光戦略課で、月ヶ瀬の良さを広く発信する取組を続けてきた。地域とさらに結びつき、特産品を生かした商品開発をコーディネートし、商品化への可能性を探ったり、新しいアピール方法はないかなど、継続的、発展的に取り組んでいる。
伸ばしたい子どもの具体的な力	地域と共にある学校、その一員としてまた、将来地域の担い手として活躍できる生徒を育成する。そのためには、キャリア学習や伝統文化の体験を通じて地域を大切に作る心「地尊」感情を育てていきたい。
取組内容	・故郷を知る…地場産業（茶・梅）体験やふるさとWALKを通して実際に地域を学ぶ。 ・伝統文化を体験する…闘茶会 茶会 奈良晒 紅花染めを体験し、文化の薫りを継承する。 ・故郷に貢献する…地域のために貢献する活動（アルミ缶回収・友愛訪問・花いっぱい活動） ・故郷の良さを発信する…地域のアピール方法についてウェブの有効活用や地域の特産品や地場産業を生かした商品開発など、具体的に活性化につながるアイデアを考え、地域と協働し、地域に還元できるアピールについて工夫する。



▶月ヶ瀬小学校 運営委員会

学校園・子どもの現状	地域の特色を十分に活かした取組を進めている。伝承芸能の継承、梅・お茶に関連した体験学習、万年青年クラブとの異世代交流など他校区にない特色ある活動を進めている。本事業は、特色ある教育活動を進める上で欠かせないものとなっている。また、本校の取組を校区に紹介し一層の理解を深めることができた。地域の方の学校への協力体制も整っている。子どもたちは、地域の方々から学ぶことを楽しみにしており、意欲的に取り組んでいる。また、交流することで地域の方に見守られているという安心感を持ち、ふるさとのよさを感じている。
伸ばしたい子どもの具体的な力	伝承芸能の継承、梅・お茶に関連した体験学習、万年青年クラブとの異世代交流など他校区にない特色ある活動を通して、ふるさとに誇りをもち大勢の前で発表したり、発信したりすることができる力。
取組内容	・経験豊かな地域の人たちに学ぶ。 ・生まれ育った月ヶ瀬のよさを知り、月ヶ瀬と深く繋がりをもって生きる子どもを育てる。 ・地域の人やものから学んだことを発信することにより、「若い親世代」の郷土愛も啓発する。 

▶月ヶ瀬こども園 運営委員会

学校園・子どもの現状	豊かな自然に恵まれた地域の中で、自然や自然物を活かした遊びを取り入れたり、地域の特色（伝統・産業）に触れる取り組みをしたりしている。保護者や地域の方々には、色々な場を通して取り組みを紹介する機会を多く持ち、理解していただき協力してもらっている。子ども達は地域の中で見守られながら色々な経験をし、いきいきと活動している。
伸ばしたい子どもの具体的な力	自然や地域の人との関わりを通して、豊かな心を育み、たくましく生き生きと活動する力。
取組内容	地域の産業であるお茶に触れる体験、地域を歩き地域を知る体験などいろいろな活動を通して地域の方とふれあい、自分たちに住む地域の人の温かさを感じられるようにしていきたい。 